

2023年度

科目名称	初等教科教育法（社会科）
授業コード	AI227
英語名称	Teaching Methodology of Elementary Subjects (Social studies)
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	梶井 正紀 (教育人間科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	我が国における社会科という教科の成立過程や教科としての目的、構造、内容、指導方法等について考察するとともに、小学校社会科の授業づくりのために、指導案の作成や模擬授業の実施などの実践的な演習等を通して教育法の基礎を養う。
科目に関連する実務経験と授業への活用	中学校（社会科）や高等学校（地歴科）を担当した教員が、その経験を活かして社会科的専門知識を教授する。また、授業実践における研究授業発表等を行った経験から、授業を組み立てるための要点（展開）を指導する。
到達目標	<p>こども学科のディプロマポリシーに掲げる「1．豊かな教養と倫理観を身につけている。ことを目指す。カリキュラムポリシーは「6．各教科の指導に求められる学校や保育現場と社会の関わりを学び、教育的手法や保育技能を養成する科目（指導法関連科目）」とし、以下の目標を設定する。</p> <p>【知識・技能についての到達目標】</p> <p>社会科の学習過程の特色をつかみ、授業づくりの基礎理論を修得する。 学習指導要領に示された、小学校社会科の目標や内容の構造と指導上の留意点を理解し、自己の教科観を確立する。 1単位時間や指導計画全体を通じた単元観・教材観・児童観などの指導観に関する理解を深め、基本的な学習指導案を作成できるようにする。 学習指導案づくりと模擬授業を通じて、実践的指導力の基礎を身に付ける。 模擬授業の振り返りと研究協議を通じて、自己の指導観について省察する。</p> <p>【学士力についての到達目標】</p> <p>・教師の役割と責任の重さを自覚し、子どもを指導する覚悟と知識・技術・態度を身に付けることができる。</p>
計画・内容	<p>第1回 オリエンテーション（本授業の進め方・授業の評価方法について）</p> <p>第2回 初等社会科教育のねらい（学習指導要領と教師）</p> <p>第3回 社会科の歴史 <新学習指導要領における社会科の改定ポイント></p> <p>第4回 小学校社会科の目標と内容構造（内容のポイント）・・・3年生・4年生</p> <p>第5回 小学校社会科の目標と内容構造（内容のポイント）・・・5年生</p> <p>第6回 小学校社会科の目標と内容構造（内容のポイント）・・・6年生</p> <p>第7回 社会科の授業づくり・・・問題解決的な授業のポイント（教材研究）</p> <p>第8回 社会科の授業づくり・・・学習指導案について</p> <p>第9回 模擬授業の準備 学習指導案の作成（小学校5年の「日本の歴史」をテーマとする）</p> <p>第10回 模擬授業の準備 学習指導案の作成（指導案をペアグループワークにて確認）</p> <p>第11回 模擬授業の準備 授業づくり（教材研究）</p> <p>第12回 模擬授業 指導案の検討（助言）</p>

2023年度

<p>計画・内容</p>	<p>第13回 模擬授業 教科の内容構成の検討（助言）</p> <p>第14回 模擬授業 授業事例の検討（助言）</p> <p>第15回 模擬授業 模擬授業の講評（各自授業評価振り返り・レポート）</p> <p>* 模擬授業では小学校5・6年の単元を取り扱うこととする。</p>
<p>授業の進め方</p>	<p>・前半（第1回から第6回）は、社会科教育に関する理論（社会科の歴史・目標・内容・方法など）を講義する。第7回以降は、小学校5年・6年の題材を取り上げて、教材研究を行い、学習指導案の作成と模擬授業を行う。模擬授業を実施した後、振り返りと研究協議を行い実践力を高める。また、社会科の教科観と指導観を深め、実践的指導力の基礎を身に付けることができるようにする。</p> <p>・15回の授業を充実させるために、各自が小学校学習指導要領解説社会編の読み込みや、小学校で使用している教科書を通じた教材研究、そして学習指導案の作成（2枚の学習指導案を作成とその修正）などの、授業時間外の学習を相当程度行うとともに、代表による模擬授業を行うためのグループでの話し合いの時間も確保すること。</p>
<p>能動的な学びの実施</p>	<p>・講義と演習を中心に授業を実施するが、講義や演習における主体的で協働的な学びが行われるよう、毎時間の授業の見通しを立てるとともに授業のリフレクションを行うようにする。また、後半の授業では教材づくり、学習指導案の作成、学習指導案の検討、模擬授業、模擬授業後の研究協議を行う。その際は、グループでの話し合い等における協働的な学びを展開すること。</p>
<p>授業時間外の学修</p>	<p>・予習、復習を含めて、概ね60時間程度の学習時間を確保することが望ましい。</p> <p>・具体的な単元を定めて、教材研究・学習指導案の作成・模擬授業後の振り返りと学習指導案の修正など、授業時間外に各自が取り組むことが必要である。</p>
<p>教科書・参考書</p>	<p>テキスト（全員購入）</p> <p>・文部科学省「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説・社会編」 日本文教出版</p> <p>< 模擬授業で使用します ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「小学社会」 5年 教育出版 ・「小学社会」 6年 教育出版 ・「楽しく学ぶ小学校の地図帳」 帝国書院
<p>成績評価方法と基準</p>	<p>学習指導案を作成する（2回分：10%×2=20%）1回目は練習・2回目は演習（模擬）</p> <p>模擬授業を15分程度行う（指定グループで教材研究を実施し、代表が授業を行う）（30%）</p> <p>* 模擬授業のグルーピングについては授業にて提示する。模擬授業の代表とならない学生は、課題レポートの提出を求める。</p> <p>レポート（社会科授業づくりの要点等）を課す（50%）</p> <p>～ を総合し評価する。</p>
<p>課題等に対するフィードバック</p>	<p>・授業で課したレポートやリフレクションについては、次回の授業で個別的又は全体的にフィードバックをする。また、演習において作成した教材や学習指導案などは可能な限り添削のうえ返却する。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>CampusSquareを参照すること。授業の前後の時間に学習相談にあたる。</p>
<p>留意事項</p>	<p>小学校1種免許状を取得するための必修科目。</p> <p>初等教育実習と密接な関連のある授業である。</p>
<p>非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」</p>	<p>授業の進め方</p> <p>CampusSquareの【掲示】の中の【掲示板登録】を利用して学習教材及び学習課題を連絡し、【レポート作成・提出レポート確認】によりワークシートを提示、学生の作成したワークシートやレポートを回収し、添削及びコメントを付し返却する。模擬授業ができなくなった場合、授業実践ビデオを視聴し、視聴の視点に沿ったワークシート並びにレポートを提出する。</p> <p>成績評価方法と基準</p> <p>変更なし。提出方法が手渡しからCampusSquare上に変化するのみ</p>